

第5期会計人材開発支援プログラムについて

1. 第5期会計人材開発支援プログラムについて

財務会計基準機構（FASF）は、我が国における国際的な会計人材の発掘・育成を目的として2019年5月から2020年7月までの期間、第5期会計人材開発支援プログラム（以下「第5期プログラム」という。）を実施した。

会計人材開発支援プログラム（以下「本プログラム」という。）は、国際会計基準審議会（IASB）及びIFRS財団の組織や会議体に優秀な人材を継続的に送ることを目指し、中長期的な視野から会計人材の育成、特に国際的な会計人材の育成を図るため、市場関係者の協力を得て2012年1月にスタートした。

第5期プログラムの実施に際しては、これまでと同様にプログラム期間を1年とした少人数制（財務諸表作成者7人、利用者2人、監査人4人）を採用した。

なお、第5期プログラムの実施期間中に発生した新型コロナウイルス感染症の影響から3か月以上の休講を余儀なくされたが、2020年6月よりウェブ会議による講義により再開し、無事プログラムを終了することができた。

本プログラムは受講者の所属団体の方々のご理解・ご協力により実施しており、関係各位に対し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

2. 第5期プログラムの内容について

第5期プログラムは、(1)概念フレームワークに関する講義、(2)企業会計基準委員会（ASBJ）関係者による講義と意見交換、(3)その他関係者との意見交換、(4)英語によるディスカッション・トレーニングの4つの内容を実施した。

(1) 概念フレームワークに関する講義

秋葉賢一早稲田大学大学院会計研究科教授を講師に迎え、「IFRS開発の基礎となる考え方（概念フレームワークを含む）や、概念フレームワークと個々のIFRSとの関係などを考察し、理解を深める」ことを目的に8回実施した。

第1回 「財務報告の目的」（2019年6月10日）

第2回 「財務情報の質的特性」（2019年7月8日）

第3回 「財務諸表の構成要素」（2019年8月5日）

第4回 「資本維持」（2019年9月10日）

第5回 「認識」（2019年11月11日）

第6回 「認識の中止」（2019年12月16日）

第7回 「測定」（2020年1月7日）

第8回 「資本と利益」（2020年2月12日）

(2) ASBJ 関係者による講義と意見交換

ASBJ 常勤委員（小賀坂敦委員長及び川西安喜副委員長）を講師とし、8回実施した。

- 第1回 「IFRSの基礎知識ほか」 川西副委員長（2019年6月17日）
- 第2回 「我が国の影響力の強化」 小賀坂委員長（2019年7月30日）
- 第3回 「ケース・スタディ」 川西副委員長（2019年8月7日）
- 第4回 「ケース・スタディ」 小賀坂委員長（2019年9月20日）
- 第5回 「ケース・スタディ」 川西副委員長（2019年11月25日）
- 第6回 「ケース・スタディ」 小賀坂委員長（2020年1月27日）
- 第7回 「危機時の会計基準のあり方」 小賀坂委員長（2020年6月16日）
- 第8回 「第5期プログラムの総括」 小賀坂委員長及び川西副委員長（2020年7月3日）

(3) その他関係者との意見交換

以下のとおり、その他の関係者との意見交換を3回実施した。

- 第1回 Nili Shah IASB Executive Technical Director（2019年11月28日）
- 第2回 井上俊剛金融庁企画市場局企業開示課長（2020年2月20日）
- 第3回 鈴木理加 IASB 理事（2020年7月1日）

(4) 英語によるディスカッション・トレーニング

英語のネイティブスピーカーである Srijit Banerjee 氏、Tal Davidson 氏を講師に迎え、予め与えられたテーマを元にディスカッションを2回（2019年12月6日、2020年1月22日）実施した。